

JACET Kansai Newsletter

No. 49 August 10, 2009

社団法人大学英語教育学会関西支部 (JACET Kansai Chapter)

支部長: 木村 博是 (近畿大学) (Chapter President: Hiroshi Kimura, Kinki University)

事務局: 〒669-1337 三田市学園 2-1 関西学院大学理工学部 長谷尚弥 研究室内

(Chapter Office: c/o Naoya Hase, School of Science and Technology, Kwansei Gakuin University)

E-mail: nhase@kwansei.ac.jp URL: <http://www.jacet-kansai.org/>

会員 (雑感)

理事 原田園子 (神戸女学院大学)

4月に新入学生を迎えての新学年度の諸行事も一通り終え、5月の連休後ようやく落ち着き授業も本腰に入った頃、新型インフルエンザのために一週間もの休校、これを補う補講もあり、なにやら慌しいこの前期でした。学期末レポート・試験の添削や採点を済まされても、今頃は海外研修の引率やオープンキャンパス等の夏季行事での公務があったり、授業や日常の委員会業務が休止中であっても、この間に少しでも進め纏めたいご自分の研究、諸学会・研究会への参加、そして、これらの成果をさらに授業や学生への指導に生かせる方策を練っておられるなど、何かとお忙しい夏の日々を過ごされている会員の皆様と存じます。

この9月初めには、“国際交流「新」時代における大学英語教育カリキュラム刷新”をテーマとしてJACET 全国大会が開催されます。研究発表・シンポジウム・ワークショップ・実践報告・ポスターセッションのタイトル一覧を見ても、会員の諸先生方が常日頃如何に授業に工夫を凝らし、努力を重ねておられるかが見えてまいります。また、授業そのものだけではなく、授業外で学生たちの英語力補強を目的として設置されたセンター等での個別指導や学外での英語力実践体験の機会も少なからずの大学で設けられていることも分かり、このような活動の担当も英語教育に携わる会員の先生方を中心としてのものだと思います。これらは、取りも直さず、私たち大学教員が社会に送り出すことになる学生達に、現代社会において今求められている英語運用能力を、その実力をつけさせるために励んでいることの表れです。

FDが求められるようになって久しく、大学設置基準においても義務化されました。これは、大学での授業の内容やその方法の改善を図ることを目指した組織的な対応が要請されているものですが、一方では、個々の教員の個別の授業・指導においてなされてこそ、生きてくるものだと思います。つまり、私たちが教える学生たちの学びの成果として現れてきてはじめてその意味があるのだ、ということです。その点において、JACET は学会全体として、会員の努力に基づく実践と研究の成果の発表と意見交換の場を提供しつ

つ、個々の、あるいは協働しての自らのFD活動を支援している学会だと言えるのではないのでしょうか。

従来は、大学で「何を学ぶか」そして「いかに学ぶか」が明確であった学生が多かったように思いますが、最近は「学び方」も定かでない若者が増えているようです。学ぶことの楽しさと喜び、そして充実感を覚えることが、加えて、教える者・教師と教えられる者・学生のつながりのあり方が、更なる学びへの原動力となり「学ぶ力」に繋がっていくものと思います。このことを意図して、英語の指導において常日頃努めているのが、名実ともに、大学英語教育学会の会員の姿なのだとあらためて感じている今日この頃です。

■ 2009 年度春季大会の報告 ■

2009 年度 JACET 関西支部春季大会が、6 月 27 日 (土) に京都外国語短期大学にて開催されました。大会テーマを「大学生の英語力の現状にどう対応するか (II)」として、計 13 のコロキウム、発表、ポスター発表、講演会 (「この国の異言語教育の動向をどう見るか」大谷泰照先生 (名古屋外国語大学)) が行われ、121 名の参加がありました。また、懇親会においても活発な議論が交わされました。

春季大会がスムーズに運営できたのは、大会開催に向けて周到な準備をいただいた研究企画委員の先生方の献身的なお力添えがあつてのことでした。特に、会場校の先生方のご尽力がなければ、このような素晴らしい支部大会は開催できませんでした。また、ご参加いただきました会員の皆様、本当にありがとうございました。

■ 第 1 回講演会の報告 ■

2009 年度関西支部第 1 回講演会が、7 月 25 日 (土) にキャンパスプラザ京都で開催されました。今回の講演会は、文学教育研究会企画のシンポジウムで「英語教育における文学教材の可能性」をタイトルとして、文学教材を大学の授業で使用する可能性について報告が行われ、36 名の参加がありました。

■ 2009 年度 関西支部秋季大会 ■

＜発表応募要領＞

2009 年度 JACET 関西支部秋季大会は、11 月 28 日（土）に近畿大学にて開催されます。この大会でのワークショップ・コロキウム・研究発表・実践報告・ポスター発表を募集致しますので、発表をご希望の会員の方は、次の要領で関西支部事務局までご応募ください。会員の皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

1. 発表は英語教育および関連分野に関する内容で、未発表のものに限ります。
 2. 研究発表・実践報告は、発表が 20 分、質疑応答が 10 分、合計 30 分の形式になります。ワークショップ、およびコロキウムは 90 分、ポスター発表は 60 分です。
 3. 応募者は、JACET 関西支部ホームページ (www.jacet-kansai.org) の「発表申込み」ページより発表申し込み用のエクセルファイル（「form.xls」）をダウンロードして、以下の必要事項を入力し、ファイル名変更の上（例：「yamadat.xls」）、admin@jacet-kansai.org まで添付ファイルで送信してください。
- A) 応募情報
- a) 発表形式: ワークショップ、コロキウム、研究発表、実践報告、ポスター発表の別を選択してください。
 - b) 発表題目（日本語と英語）
 - c) 発表者情報（共同発表は氏名と所属のみ）：氏名（漢字とローマ字）、所属（日本語と英語）、E-mail、電話番号
 - d) 発表に使用する言語（日本語、もしくは英語）
 - e) 審査コメントの希望言語（日本語、もしくは英語）
 - f) 使用希望機器（無い場合は「なし」を選択）
- B) 発表要旨（目的、背景、仮説、方法、結論、引用文献等）日本語の場合は 800 字程度（1000 字以内）、英語の場合は 300 words 程度（400 words 以内）、無記名とする。[※重要] 文字数を厳守してください。※申込み入力確認を、入力いただいた E-mail 宛に原則 3 日以内に受信したことをお知らせします。万一、連絡がない場合は事務局までご一報ください。
4. 申込応募期間：2009 年 8 月 16 日（日）～ 9 月 6 日（日）午後 11 時 59 分
 5. 選考は選考委員会にて行います。
 6. 選考結果は、締切り後 1 ヶ月程度で E-mail あるいは封書にて通知します。
 7. その他：ワークショップ・コロキウムの詳細については、事務局までお問い合わせください。

＜発表枠区分時間＞

研究発表：20 分＋10 分質疑応答
実践報告：20 分＋10 分質疑応答
ポスター発表：昼食時間を挟む 1 時間
ワークショップ：90 分
コロキウム：90 分

CALL FOR PAPERS

The 2009 Fall Conference of the JACET Kansai Chapter will be held at Kinki University on Saturday, November 28. Members of the JACET Kansai Chapter are invited to present proposals for research papers, reports on classroom activities, poster sessions, workshops, and colloquiums.

Conditions and procedures for proposals are as follows:

- 1) Proposed topics should be relevant to English education and related fields. The proposed material should not have been presented elsewhere.
- 2) A research paper or a report on classroom activities should consist of a 20-minute presentation and a 10-minute Q & A period. Workshops and colloquiums are allotted 90 minutes, and poster sessions entail a 60-minute period for explanation.
- 3) An Excel-based proposal form (“form.xls”) is available on the JACET Kansai Web site (www.jacet-kansai.org). Fill in the following information on the form, rename the file (e.g., “yamadat.xls”), then send it via e-mail to admin@jacet-kansai.org as an attachment.

A) Application form:

a) Type of proposal (research paper, report on classroom activities, poster sessions, workshops, or colloquiums); b) Title of proposal; c) Information about applicant: name, affiliation, e-mail address, phone number; d) Language for presentation (English or Japanese); e) Language requested for peer review (English or Japanese); f) Equipment required.

B) Abstract: anonymous; 300-400 words. (Mention should be made of the purpose of the research, background, methods, conclusion, references.)

※ Acknowledgment of the receipt of your proposal will be sent by e-mail within three days after its receipt. If you do not receive an acknowledgment, please inform the office as soon as possible.

- 4) Submission period for proposals: From August 16 to September 6, 2009.
- 5) Selection of the proposals will be carried out by the Reviewing Committee.
- 6) Notification of acceptance will be sent from the office within a month after the deadline.
- 7) With regard to workshops and colloquiums, please contact the JACET Kansai Chapter Office for details.

■ 『JACET関西紀要』投稿募集 ■

紀要編集委員会では、『JACET 関西紀要』第 12 号への投稿論文を募集いたします。投稿原稿は、大学における英語教育およびその関連分野の研究に資する内容のものとします。今号より支部大会および全国大会での発表済み論文枠も設けられます（紀要刊行 1 年前までのいずれかの大会での発表が対象）。会員の皆様には奮ってご投稿くださるようお願い申し上げます。

投稿期限：2009年11月15日（日）午後 11:59 まで

論文送付先：紀要編集委員会 事務局長

水本 篤（流通科学大学）

jacet.kansai.journal@gmail.com

（提出は郵送不要、メールのみ）

※ 受領後 3 日以内に確認の返信が届きます。万一 3 日たっても返信が届かない場合は、再度ご連絡ください。

※ 投稿者は、投稿時の原稿郵送を不要とし、電子メールの添付ファイルのみとします。

発行までの日程（予定）：

11 月 15 日	投稿原稿締め切り （★添付ファイル送信のみ）
12 月 20 日	審査結果通知
2 月 10 日(必着)	最終原稿締め切り （★添付ファイル送信のみ）
3 月末	刊行

なお、投稿の際には www.jacet-kansai.org/kako.html にある『JACET関西紀要』の書式テンプレートをご覧の上、書式に従ってください。投稿規定については、JACET 関西 HP をご参照ください。

JACET Kansai Journal Call for Papers

Kansai Chapter members are welcome to submit manuscripts for consideration for publication in Vol. 12. Papers should be related to research on college English language education or related areas. From this volume, *JKJ* will have a new section for papers that have been presented at JACET chapter or national conferences within the past year.

Submit manuscripts to:

Atsushi MIZUMOTO, Ph.D.

JACET Kansai Journal Secretariat

University of Marketing and Distribution Sciences

jacet.kansai.journal@gmail.com

(only e-mail submissions will be accepted)

If you do not receive a message confirming the receipt of your manuscript within 3 days, please request confirmation.

Only e-mail submissions will be accepted. Postal submission of paper-based manuscripts will NOT be accepted.

Prepare your manuscript according to the Journal instructions using Word software. Send it as an attached file with an email message to Dr. Mizumoto, Secretariat, *JACET Kansai Journal*.

Publication schedule for Vol. 12:

Deadline for submission: Nov. 15, 2009 (via email as an attached file)

Notification of publication decision: Dec. 20, 2009

Deadline for submission of final version: Feb. 10, 2010 (via email as an attached file)

Publication: March 31, 2010

Refer to the guidelines and template at the JACET Kansai Chapter home page (www.jacet-kansai.org/kako.html).

■ 第2回講演会のお知らせ ■

2009 年度の第 2 回講演会を下記の要領で開催いたします。会員の皆様は奮ってご参加ください。

日 時：2009 年 10 月 3 日（土）

15 時 30 分～17 時 00 分

（受付は 15 時 15 分から）

場 所：神戸国際会館 8F、5 号会議室

（<http://www.kih.co.jp/access/index.html>）

形 式：英語力指標研究会企画によるシンポジウム

タイトル：「小学校外国語活動と大学教育との接点を求めて～教員養成の現状と展望～」

司会者：牧野真貴（関西国際大学（非））

発表者：田邊義隆（近畿大学）、辻伸幸（和歌山大学附属小学校）、相川真佐夫（京都外国語短期大学）

助言者：野口ジュディ（武庫川女子大学）、フィゴーニ啓子（武庫川女子大学（非））

※ 要旨などの詳細は支部 HP をご覧ください。

資料代：会員—無料、非会員—500 円

申 込：事前申込は不要です。直接会場にお越しください。

■ 事務局便り ■

所属、メールアドレス、住所、身分・資格などが変わった場合は、jacet@zb3.so-net.ne.jp までご連絡ください。